

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅢD (English ⅢD)					担当教員	広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/資格対応 科目
	2011-0-31-013	教養科目	必修	2 単位	3 年次	通年		
2024-26 年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/資格対応 科目
	2411-0-31-011	教養科目	必修	2 単位	3 年次	通年		

① 授業のねらい・概要										
英語のリーディング能力・スピーキング能力・ヒアリング能力を伸ばすことを目標とする。具体的には、第1に英語のリーディング能力を伸ばすため Power Base というリーディング基幹ツールを使用したトレーニングを行う。第2に発声練習を重視したスピーキングトレーニングに取り組む。第3に TOEIC 対応力育成も考慮した実践的なヒアリングトレーニングを実行する。										
② ディプロマ・ポリシーとの関連										
コミュニケーション能力										
③ 授業の進め方・指示事項										
英語学習は積み重ね型の学習で毎回の授業内容の理解と定着が重要となるので、積極的に授業に参加し課題に取り組むこと。										
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能										
英語Ⅰ・英語Ⅱ										
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。										
毎回学習資料を配布する。										
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。										
Gillian Flaherty, James Beam, 鎌倉義士 (2020)『聞いて話せる英語学習 Book1』成美堂										
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)										
英語は高度化するグローバル化の時代にあつて、世界中の人とコミュニケーションをとるための事実上の世界語となっている。英語学習の成果は量で決まる面が強いので、可能な限り多くの英語にふれるような工夫をしていきたい。										
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安										
(1) リーディングの基礎力・応用力の習得 (2) スピーキングの基礎力・応用力の習得 (3) TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力の習得										
⑨ ルーブリック										
評価基準	S		A		B		C		D	
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している		到達目標を達成している		到達目標達成にはやや努力を要する		到達目標達成には努力を要する		到達目標達成には相当の努力を要する	
(1)	リーディングの基礎力・応用力	リーディングの基礎力・応用力に関して、授業内容を越えた学修成果を示している。	リーディングの基礎力・応用力に関して、十分な学修成果を示している。	リーディングの基礎力・応用力に関して、不十分ながら自力で学修成果を示している。	リーディングの基礎力・応用力に関して、教員等の支援を得て、最低限の学修成果を示すことができる。	リーディングの基礎力・応用力に関して、教員等の支援を得ても、最低限の学修成果を示すことができない。				
(2)	スピーキングの基礎力・応用力	スピーキングの基礎力・応用力に関して、授業内容を越えた学修成果を示している。	スピーキングの基礎力・応用力に関して、十分な学修成果を示している。	スピーキングの基礎力・応用力に関して、不十分ながら自力で学修成果を示している。	スピーキングの基礎力・応用力に関して、教員等の支援を得て、最低限の学修成果を示すことができる。	スピーキングの基礎力・応用力に関して、教員等の支援を得ても、最低限の学修成果を示すことができない。				
(3)	TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力	TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力に関して、授業内容を越えた学修成果を示している。	TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力に関して、十分な学修成果を示している。	TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力に関して、不十分ながら自力で学修成果を示している。	TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力に関して、教員等の支援を得て、最低限の学修成果を示すことができる。	TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力に関して、教員等の支援を得ても、最低限の学修成果を示すことができない。				

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	50%		30%		20%		100%	
(1) リーディングの基礎力・応用力	20%		15%		10%		45%	
(2) スピーキングの基礎力・応用力	15%		5%		5%		25%	
(3) TOEIC 対応力及びヒアリング基礎力・応用力	15%		10%		5%		30%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	試験・課題には助言をつけ継続的能力向上につなげる。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	イントロダクション・英語の言語構造の基本	英語の言語構造の基本に関するレポート作成						90分
2	リーディング基幹ツール Power Base の解説 I	配布資料関連課題学習						90分
3	リーディング基幹ツール Power Base の解説 II	配布資料関連課題学習						90分
4	リーディング基幹ツール Power Base の解説 III	配布資料関連課題学習						90分
5	リーディング基幹ツール Power Base の解説 IV	配布資料関連課題学習						90分
6	リーディング基礎力トレーニング I	配布資料関連課題学習						90分
7	リーディング基礎力トレーニング II	配布資料関連課題学習						90分
8	リーディング基礎力トレーニング III	配布資料関連課題学習						90分
9	スピーキング基礎力トレーニング I	スピーキング課題学習						90分
10	スピーキング基礎力トレーニング II	スピーキング課題学習						90分
11	ヒアリング基礎力トレーニング I	ヒアリング課題学習						90分
12	ヒアリング基礎力トレーニング II	ヒアリング課題学習						90分
13	TOEIC 対応力育成 I	TOEIC 課題学習						90分
14	TOEIC 対応力育成 II	TOEIC 課題学習						90分
15	前期まとめ	Global Liberal Arts 関連特別レポートの作成						90分
16	リーディング基幹ツール Power Base の応用 I	配布資料関連課題学習						90分
17	リーディング基幹ツール Power Base の応用 II	配布資料関連課題学習						90分
18	リーディング基幹ツール Power Base の応用 III	配布資料関連課題学習						90分
19	リーディング応用力トレーニング I	配布資料関連課題学習						90分
20	リーディング応用力トレーニング II	配布資料関連課題学習						90分
21	リーディング応用力トレーニング III	配布資料関連課題学習						90分
22	スピーキング応用力トレーニング I	スピーキング課題学習						90分
23	スピーキング応用力トレーニング II	スピーキング課題学習						90分
24	ヒアリング応用力トレーニング I	ヒアリング課題学習						90分
25	ヒアリング応用力トレーニング II	ヒアリング課題学習						90分

26	ヒアリング応用力トレーニングⅢ	ヒアリング課題学習	90分
27	TOEIC 対応力育成Ⅲ	TOEIC 課題学習	90分
28	TOEIC 対応力育成Ⅳ	TOEIC 課題学習	90分
29	TOEIC 対応力育成Ⅴ	TOEIC 課題学習	90分
30	後期まとめ	Global Liberal Arts 関連特別レポートの作成	90分
⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL を採用する。授業で毎回の学習課題の最重要部分を固め、授業外の自習によってそれら最重要部分の徹底した定着を図る。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性